

大会名 Competition	第28回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-105	Year Month Day Time 2015 年 5 月 3 日 16 : 40
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
福大大濠	(19 1st 19 21 2nd 12 23 3rd 20 17 4th 16 OT)	能代工
80 ○		67 ●

主審:Referee
加川 真 宮城
副審:Umpire
古川 俊和 福島
水木 順仁 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
八戸学院光星

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	牧 隼利	CAP	6	0	3	0	0	4	×	盛實 海翔	CAP	9	0	2	5	1
5	×	西田 優大		14	3	2	1	2	5	×	中村 碧杜		14	0	6	2	4
6	×	中村 太地		7	0	3	1	4	6	×	齊藤 大輔		23	0	9	5	5
7	/	中崎 圭斗		-	-	-	-	0	7	×	小室 望海		9	0	4	1	2
8	/	青木 亮		3	0	1	1	3	8	×	大高 祐哉		10	3	0	1	2
9	×	増田 啓介		37	0	15	7	3	9	/	高畑 陸		2	0	1	0	0
10	/	山内 康平		0	0	0	0	0	10	/	金久保 翔		0	0	0	0	0
11	/	鍵富 太雅		2	0	1	0	2	11		柴田 一真		-	-	-	-	0
12	/	立野 友也		0	0	0	0	0	12		富樫 優汰		-	-	-	-	0
13	/	渡嘉敷 直輝		1	0	0	1	0	13		植村 太一		-	-	-	-	0
14	/	兒玉 修		8	1	2	1	0	14		長濱 宏治郎		-	-	-	-	0
15	×	井上 宗一郎		2	0	1	0	2	15		山田 柗人		-	-	-	-	0
16		堀川 裕作		-	-	-	-	0	16		熊谷 弥高		-	-	-	-	0
									17		石田 淳		-	-	-	-	0
									18		児玉 海渡		-	-	-	-	0
コーチ		片峯 聡太						0	コーチ		柴田 直宏						0
Aコーチ		田中 國明						0	Aコーチ		杉沢 政						0
合 計				80	4	28	12	16	合 計				67	3	22	14	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、初めに流れをつかんだのは能代工。#5中村のゴール下、#6齊藤のジャンプシュートで連続得点し、6-13とリードを奪う。福大大濠は#5西田の3Pで反撃を開始すると、#14兒玉が連続得点し、13-13の同点に追いつく。ここから一進一退の展開になった1Qは、19-19の同点で終わる。能代工業は、#5中村、#6齊藤のリバウンドが安定しているものの、ターンオーバーが多く、思うように得点が伸びない。

2Q、能代工は、#8大高の3P、#9高畑のタップシュートで22-26とリードする。ここで福大大濠はタイムアウトをとると、ディフェンスのプレッシャーを強くしてくる。これに対し、能代工はシュートの回数が減り、24秒バイオレーションを2回とられてしまう。その間に福大大濠は#9増田のジャンプシュートなどで加点し、28-27と逆転に成功する。能代工もタイムアウトを取ると、再開後に#4盛實のフローターシュートなどで再逆転する。しかし、その後は福大大濠が10連続得点し、40-31と9点のリードで前半を終える。

3Q、福大大濠は#9増田を中心に加点していく。能代工も#8大高の3Pなどでついていくが、福大大濠#14兒玉の3Pが決まり、この試合最大の13点差となったところでタイムアウト。再開後はお互いに24秒バイオレーションに追い込むなどディフェンスの頑張りが目立つ展開となる。福大大濠は、#6中崎のドライブイン、能代工は#6中村のタップシュートからのバスケットカウントなどで両チーム加点し、63-51と福大大濠の12点リードでこのクォーターを終える。

4Q序盤は、能代工ペース。#7小室の速攻や#8大高の3Pで差を詰め、65-61と4点差まで追いつく。しかし、福大大濠はここから#9増田の外角シュートや#5西田の3Pなどで逆転を許さず、最終スコア80-67でこの一戦をものにした。